



「夏」をテーマにした切り抜き新聞を作る参加者
1日、福井新聞社・風の森ホール

「夏」が満載 切り抜き新聞



日本新聞協会NIEアドバ
イザーを務める福井市豊小の
中谷幸子教諭が講師を務め

「切り抜き新聞」作りを楽しんだ。

親子ら24人体験 本場でセミナー

新聞を活用した教育活動への理解を深めようと、県NIE教育研究会は1日、福井新聞社・風の森ホールで「NIEセミナー」を開いた。親子や教員ら計24人が参加し、夏をテーマにした「切り抜き新聞」作りを楽しんだ。

参加者は、会場内に並べられた6月1日から30日までの福井新聞の中から、夏を感じる写真や見出しを切り抜き、画用紙に貼り合わせ、オリジナルの新聞を完成させた。どの写真を集めて「丸い甘い夏の食べ物」と見出しを付けたり、ホテル観賞会や花火大会の記事をそろえて「出かけるみよつ夏のイベント」とコメントを書き込んだりするなど多彩な新聞が勢ぞろい。参加者同士で新聞を見せ合い、工夫した点を発表した。

母親と参加した鶴谷百恵さん(西藤島小4年)は「新聞の中のいろいろな情報から記事や写真を探して、自分だけの新聞を作るのが楽しかった」とこぼす。武生南小の齋藤かおり教諭(49)は「気軽にできる実践で、子どもたちが新聞に興味を持ち、語彙も増えそう。学校でぜひ実践したい」と話していた。

親子と参加した鶴谷百恵さん(西藤島小4年)は「新聞の中のいろいろな情報から記事や写真を探して、自分だけの新聞を作るのが楽しかった」とこぼす。武生南小の齋藤かおり教諭(49)は「気軽にできる実践で、子どもたちが新聞に興味を持ち、語彙も増えそう。学校でぜひ実践したい」と話していた。

親子と参加した鶴谷百恵さん(西藤島小4年)は「新聞の中のいろいろな情報から記事や写真を探して、自分だけの新聞を作るのが楽しかった」とこぼす。武生南小の齋藤かおり教諭(49)は「気軽にできる実践で、子どもたちが新聞に興味を持ち、語彙も増えそう。学校でぜひ実践したい」と話していた。

(宇野和宏)